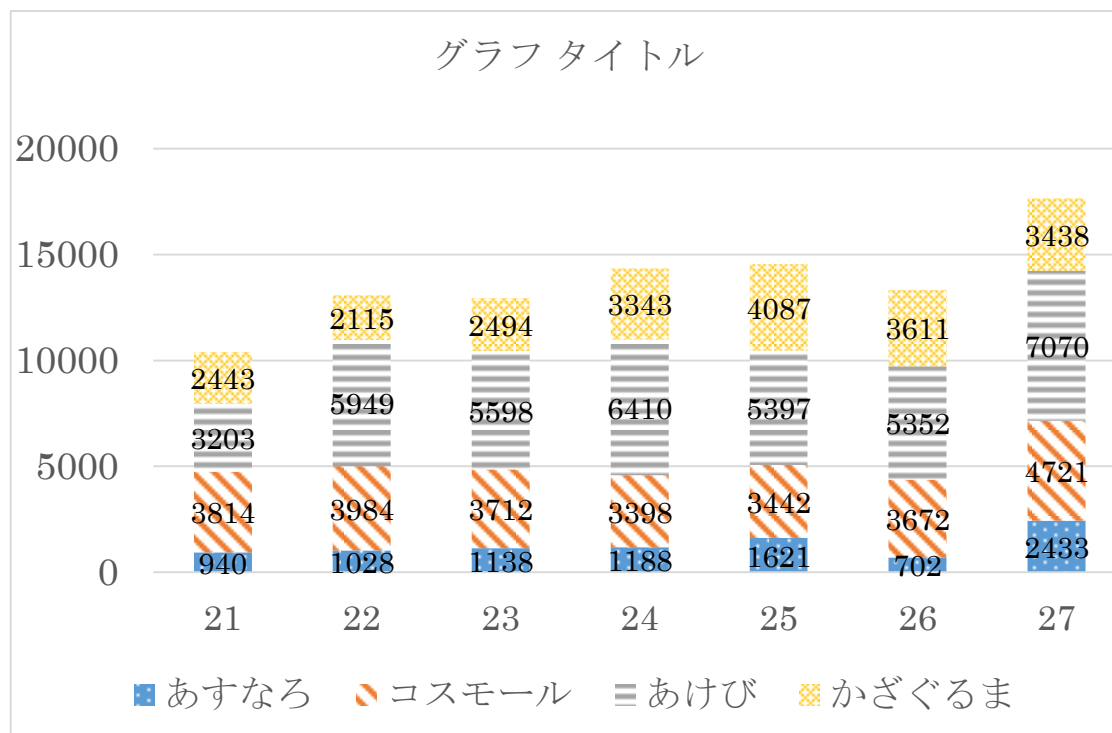


平成27年度相談支援事業実績報告・概況報告まとめ

1、平成21年から27年までの支援センター別相談件数の推移



2、平成27年度 相談事業の概要と相談件数

(1) 福祉サービスの利用に関する支援	7,061
(2) 障がいや病状の理解に関する支援	319
(3) 健康・医療に関する支援	761
(4) 不安の解消・情緒安定に関する支援	1,375
(5) 保育・教育に関する支援	1,106
(6) 家族関係・人間関係に関する支援	417
(7) 家計・経済に関する支援	374
(8) 生活技術に関する支援	629
(9) 就労に関する支援	306
(10) 社会参加・余暇活動に関する支援	818
(11) 権利擁護に関する支援	191
(12) その他(専門機関の紹介・調整)	4,305
計	17,662

3、相談支援の傾向と課題

- ・ 新規の相談ケースが増えている。最近は重複した障がいの方や家族からの相談が増えてきている。そのため、その他の障がい者相談支援機関はもちろん、介護保険関係、医療機関、教育関係機関、児童福祉関係機関等連絡機関は多種多義にわたる。
- ・ また、家族や同居世帯員も障がいや複雑な課題を抱えており、家族力の低下により虐待につながるような潜在的なケースが考えられる。
- ・ 障がいによる入退院や加齢による疾病の発症により、医療機関との連携やケース会議が増えている。重度心身障がい児、強度行動障がい者等に対応できる事業所が少なく、有効な支援体制が構築しにくく、事業所が対応に苦慮している。
- ・ 親亡き後の本人の生活についての相談は増えている。グループホームの不足で、県下で発生しており親が死亡などの緊急時に対応できない。7